算数科 小学校 １年

単元名 ひきざん（1）
「のこりはいくつ　ちがいはいくつ」
啓林館「わくわくさんすう１」

単元の流れ（全 10 時間）

単元目標
○ ひき算が用いられる場面を知り、ひき算の記号や式の読み方、書き方を理解する。

【第１次】
主な学習内容
◇第１時　数図ブロックを操作し、残りの数を求める場面を理解する。
◇第２時　ひき算の式を知り、ひき算の式に書いて答えを求める。

CLICK 単元の詳細はこちら

【第２次】
主な学習内容
◇第３時　数図ブロックを用いた活動を通して、求部分の場面を理解する。（本時）

「活用」の力育成のために
数図ブロックを動かした意味を言葉で説明する。

CLICK 評価問題

【第３次】
主な学習内容
◇第４、５時　ひき算のカードを使い、ひき算の練習をする。

【第４次】
主な学習内容
◇第６時　数図ブロックを操作し、求差を求める場面を理解する。
◇第７、８時　求差の場面でも、ひき算の式に書いて答えを求めることができることを理解する。

「活用」の力育成のために
問題文や絵から、場面の状況について、数図ブロックなどを使って説明することができる。

評価問題 CLICK

【第５次】
主な学習内容
◇第９時　ひき算を適応する場を広げ、ひき算について理解を深める。
◇第10時　ひき算の適用問題やたし算との混合問題を解く。

「活用」の力を育てるポイント

①題意を把握するために、場面の状況について、数図ブロックなどを使って説明させる。

②問題を解決するために数図ブロックの操作や動かした意味を言葉で説明させる活動を重視する。

③答えを求めた後は、振り返りにより学習内容を再確認させる。

ひき算を用いる場面

- いくつかを取り去った後の残りの数を求める（求残）
- 注目しているものを取り除いた部分の数を求める（求部分）
- ２種類のものの個数のちがいを求める（求差）

HOME　本時の流れへ